2026年11月５日

各　位

会 社 名　日　油　株　式　会　社
代表者名　代表取締役社長　沢村　孝司
（コード：4403 東証プライム市場）
問合せ先　執行役員 ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ部長　金子　幸代
（TEL　03-5424-6651）

2027年３月期通期の連結業績予想修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2026年５月11日に公表した連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．当期の通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	319,000	50,000	51,000	39,000	169.60
今回修正予想（B）	321,500	50,500	51,800	41,000	183.00
増減額（B－A）	2,500	500	800	2,000	
増減率（%）	0.8	1.0	1.6	5.1	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	257,967	47,411	50,366	40,550	176.34

（参考情報：報告セグメント別内訳）

（単位：百万円）

	機能化学品		医薬・医療・健康		化薬	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
前回発表予想（A）	155,500	26,400	50,200	12,300	112,800	15,400
今回修正予想（B）	158,900	28,300	47,000	10,500	115,000	15,700
増減額（B－A）	3,400	1,900	△3,200	△1,800	2,200	300
増減率（%）	2.2	7.2	△6.4	△14.6	2.0	1.9
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	145,751	26,846	49,931	15,816	61,675	7,979

２．修正の理由

通期の業績予想につきましては、中間連結会計期間の実績および第３四半期以降の見通しを踏まえ、前回予想を修正いたします。

中間連結会計期間の業績は、機能化学品事業では化粧品関連製品などの出荷が好調に推移したことにより、期初の想定を上回り推移いたしました。

第３四半期以降では、医薬・医療・健康事業のＤＤＳ医薬用製剤原料は、上市製品の出荷は概ね計画どおり推移するものの、臨床開発品などの出荷の一部が次期に後ろ倒しになることから、期初の想定を下回る見込みです。また、食用加工油脂・食品機能材は、適正価格の維持に努めているものの、原燃料価格の高騰が継続していることに加え、消費者の節約志向の高まりや低価格帯商品への需要シフトの影響もあり、期初の想定を下回る見込みです。一方、機能化学品事業は化粧品関連製品などの需要が堅調に推移する見込みであり、化薬事業も堅調に推移する見込みです。

通期にわたって世界経済の先行きが不透明な状況が継続すると予想されますが、当中間連結累計期間までの進捗、需要見通しおよび為替レートの見直しにより、通期の売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表の予想値を上回る見込みです。

業績予想の前提となる通期の想定平均為替レートは、当初の想定レートである米ドル 150 円、ユーロ 180 円から、米ドル 158 円、ユーロ 182 円へ変更しております。

前回発表予想との営業利益差異内訳は別紙をご参照ください。

３．剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想修正

（１）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 （2026 年５月 11 日公表）	前期実績 （2026 年３月期 第２四半期）
基準日	2026 年９月 30 日	同左	2025 年９月 30 日
1 株当たり配当金	37 円 00 銭	35 円 00 銭	26 円 00 銭
配当金総額	8,251 百万円	―	5,978 百万円
効力発生日	2026 年 12 月 1 日	―	2025 年 12 月 1 日
配当原資	利益剰余金	―	利益剰余金

（２）期末配当予想修正の内容

	１株当たり配当金（円）		
基準日	第２四半期末	期末	年間
前回発表予想（2026 年５月 11 日公表）	―	35 円 00 銭	70 円 00 銭
今回修正予想	―	37 円 00 銭	74 円 00 銭
当期実績	37 円 00 銭	―	―
（ご参考）前期実績（2026 年３月期）	26 円 00 銭	35 円 00 銭	61 円 00 銭

４．修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と認識し、配当額の向上と機動的な自己株式取得・消却に努めております。

上記の方針及び本日発表いたしました業績、財務状況などを総合的に勘案し、中間配当金（第２四半期末）は前回発表予想の１株当たり 35 円から２円増配の 37 円といたします。また、期末配当予想につきましては、前回発表予想の１株当たり 35 円から２円増配し 37 円に引き上げることといたします。これにより、年間の１株当たり配当予想は前回発表予想より４円増配、前期実績より 13 円増配の 74 円となります。

（注）上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以　上

別紙

2027年3月期通期連結営業利益予想の差異内訳

（単位：億円）

	前回発表予想	差異内訳			計	今回修正予想
		増減販	変動費	固定費		
機能化学品	264	※1 7	※1 4	※2 8	19	283
医薬・医療・健康	123	※3 △26	※3 △1	※4 9	△18	105
化薬	154	4	2	※5 △3	3	157
その他・調整額	△41	1	－	0	1	△40
合計	500	※6 △14	※6 5	※7 14	5	505

※1 機能化学品事業の増減販および変動費には、計＋5億円の為替影響を含む

※2 機能化学品事業の固定費には、計+4億円の棚卸影響を含む

※3 医薬・医療・健康事業の増減販および変動費には、計＋4億円の為替影響を含む

※4 医薬・医療・健康事業の固定費には、計＋6億円の棚卸影響を含む

※5 化薬事業の固定費には、計△1億円の棚卸影響を含む

※6 合計の増減販および変動費には、計＋9億円の為替影響を含む

※7 合計の固定費には、計＋9億円の棚卸影響を含む